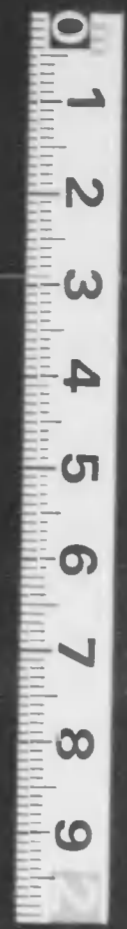
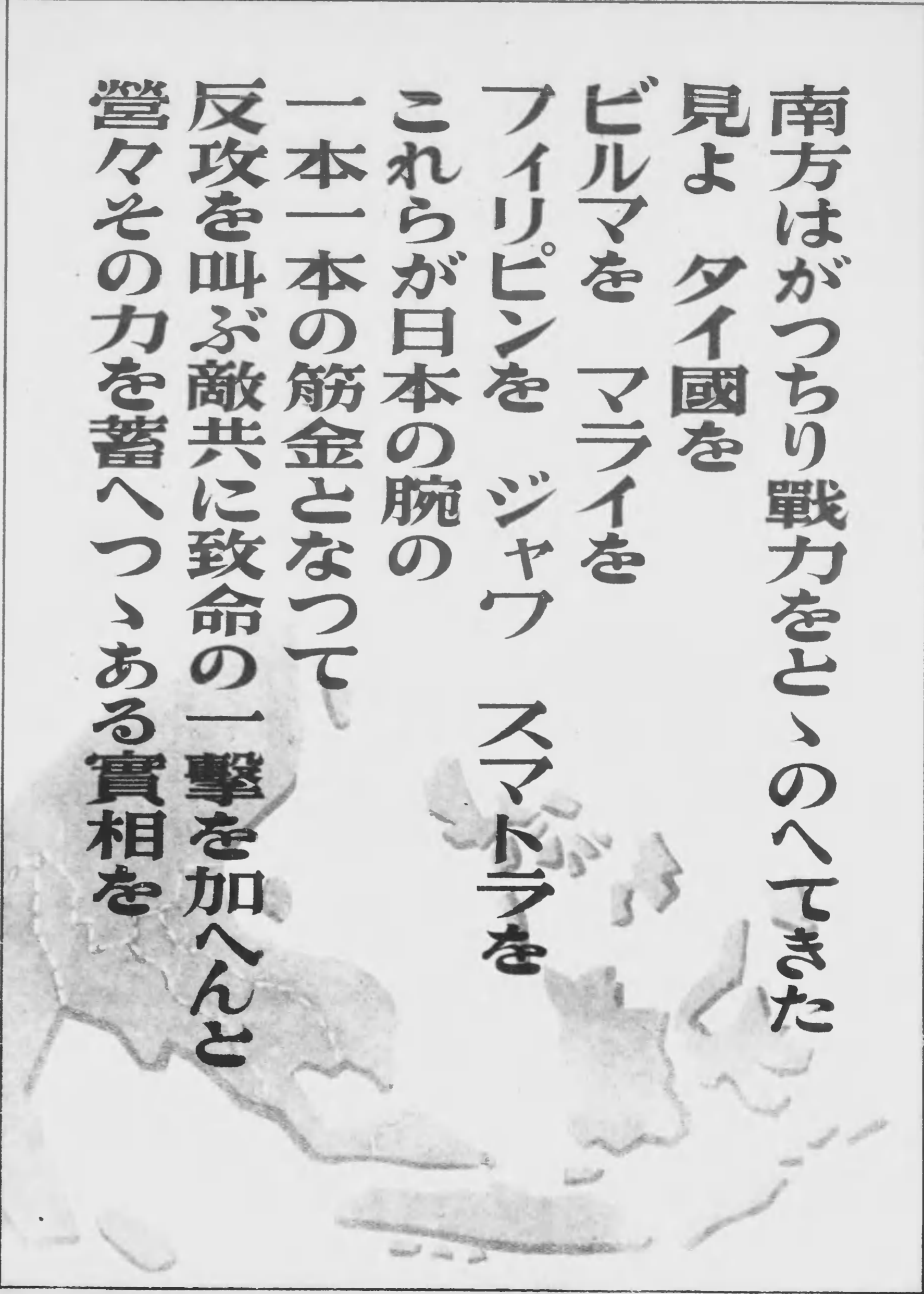


週寫  
報眞

情報局編輯  
七月廿一日 第二八十一號



南方はがつちり戦力をととのへてきた  
 見よ タイ國を  
 ビルマを マライを  
 フイリピンを ジャバ スマトラを  
 これらが日本の腕の  
 一本一本の筋金となつて  
 反攻を叫ぶ敵共に致命の一撃を加へんと  
 營々その力を蓄へつゝある實相を



東條總理南方視察の一週間

昭南を訪れた東條内閣總理大臣は、七月六日、  
 インド國民軍總統スバス・チャンドラ・ボース  
 氏とともに國民軍の在昭南部隊を閲兵した



ジャカルタ



「われらの父来る」東條総理の来訪を迎へてジャワ民衆の喜びは大きかつた。  
七月七日午後四時ジャカルタ市ガンビル廣場の感謝民衆大会に臨む東條総理



東條総理の到着を待ちかねて伺候し、新ジャワ建設に能ふかぎりの協力を誓ふジャワ土俵  
電報訪問にジャワのヨイドモ達は歓迎をあげた。  
日本語で挨拶できる日も近いであらう  
ジャワでも「勝つ結」の建設に大奮だ。益々繁か  
れつゝある南の戦力を東條総理はたのしく観察  
した。〇〇造船所にて



昭南



七月五日、昭南に到着した東條総理は先づ第一に市廳前廣場の市民大寺に臨んだ



七月六日朝武蔵山の砲臺塔に参拝した東條総理は、砲臺をのぞきつゝ「アキマミ又路をはじめ筑紫山、龜山からジ・ホル水道方面の戦況を望んで感慨を深くした



獨立準備に忙しいビルマのバモ行政官も昭南に東條総理を迎へ、四ヶ月目に再び膝を交へて懇談した

南方より歸りて

内閣總理大臣 東條 英機  
兼陸軍大臣

私はこの度出張仰付られタイ國を訪問し、ピン首相等の要人と胸襟を開いて懇談し、また目のあたり大戦争下における同國の實情に觸れることが出来たのであるが、身を以て率ゆる力強き指導者ピン首相の下に、國を擧げてタイ國の興隆に大東亞戦争の完遂に、渾身の精進を續けてゐるタイ國民の努力に對して、私は茲に深甚なる敬意を表する次第である

而して今回の訪問によつて、南、民間相互の理解を深め、戦争完遂の決意を堅め、特にタイ國に對し帝國の執らんとする新たな協力の具體的方式につき南總理の間に完全なる意見の一致を見るに至つたことは、洵に御同慶に堪へないところである。私はタイ國訪問と同時に、この度マライ、スマトラ、ボルネオを訪れ、各地軍狀及び住民の實情を視察し、且つ現地に活躍しつゝある皇軍將兵及び官民の勞を稱ふことを得たのは洵に欣快に堪へない次第である

なほ私は昭南においてバモ、ビルマ行政官長官と會談し、またインド國民軍の副志願者、軍容に接する機会を得、ジャカルタにおいては住民の熱意に満てる盛大なる感謝大會に臨み、更にマニラに立寄れる際は、比島獨立準備委員會の人々と會談することを得たことは洵に仕合せとするところである

今回私の訪問した南方諸地域における皇軍は酷熱の下あらゆる悪條件を克服しつゝ、或ひは治安確保に、或ひは要地防衛に、或ひは海上哨戒に、或ひは海上交通保護に、その他幾多複雑多岐なる任務に服しつゝ、しかも寸暇を惜しんで大則作戦を目標に不撓の訓練に精進してゐるのである。一方、現地における同胞は各自に課せられたる實務の重大性を自覺して、各々その職域において涙ぐまじき奮闘を續けてゐるのである

これ等將兵及び在留同胞の健闘報りに接し、私

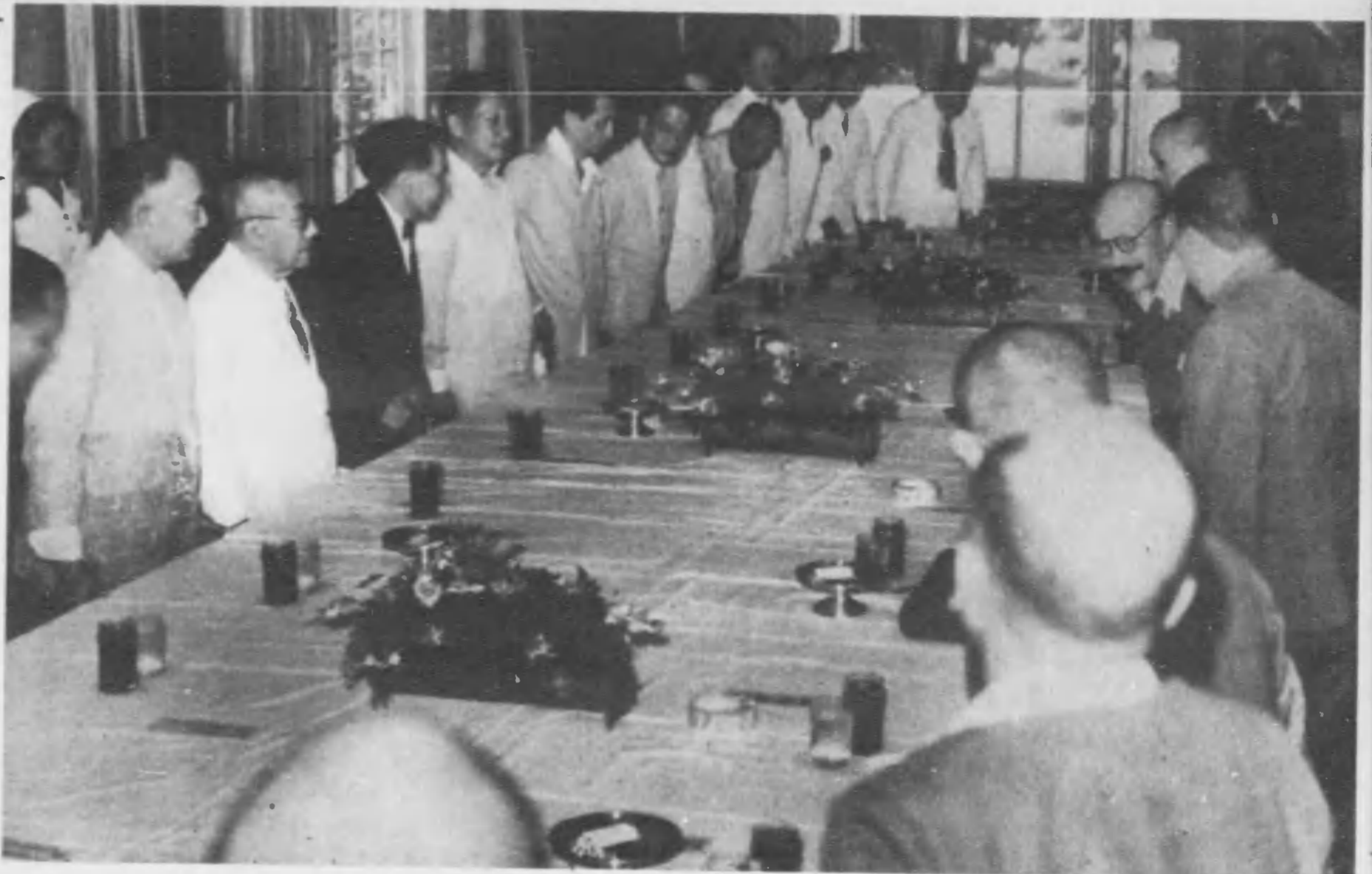
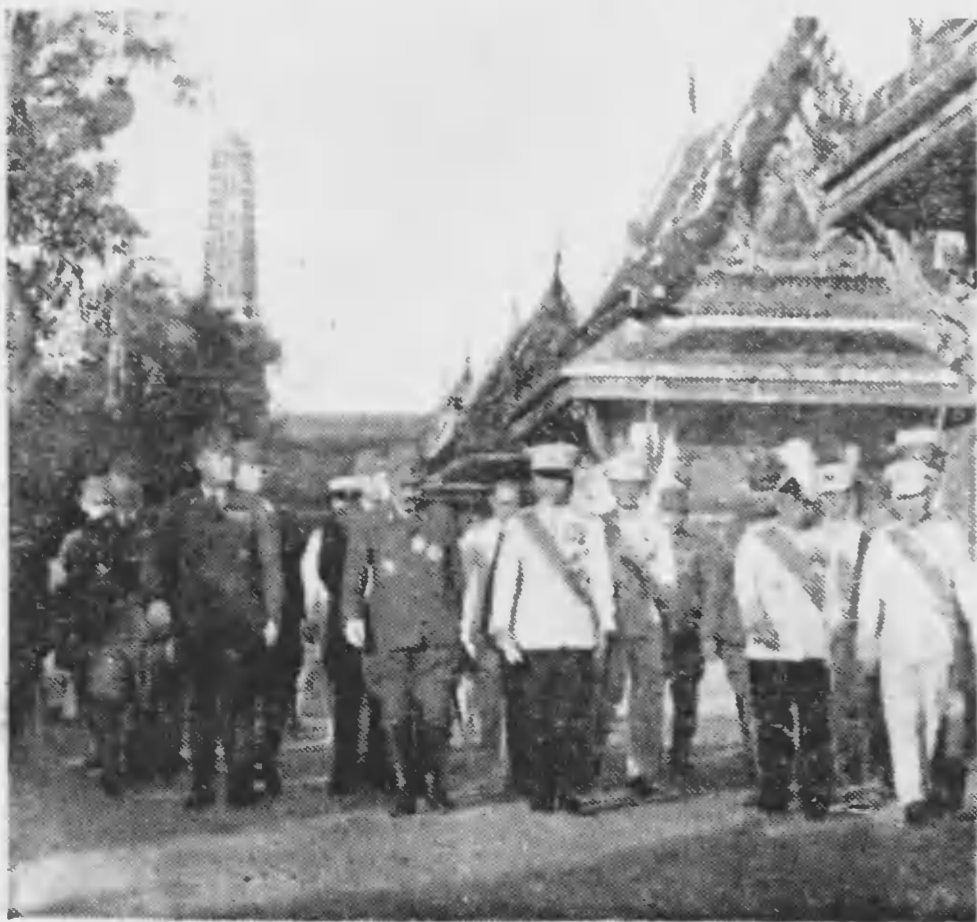


懐かしい南方偏空  
行のハレトキ、  
上宮寺院を参拜  
し、東帝の傳  
統と文化に思が  
み馳せる東條總  
理

東條總理、ビブ  
ン總理の閣兵を  
受ける羅進タイ  
國軍。その創立  
には皇軍として  
に臨平、皇軍擊  
滅に直進する決  
意が溢れてゐる

國旗を表象する  
勳章の飾り  
ついで東條總理  
の胸中に大東  
亞共榮の大理  
想。兩國の協力  
による實現に向  
つて一層強化さ  
れた

クコンバ



東條總理南方視察の二週間  
マニラ  
歸途、東條總理は七月十日晝マニラ港  
で再び比島を訪れ、マニラ・ホテルで  
開かれた獨立準備委員会との懇談會に  
出席した



は衷心より感謝の意を表すると共に、戦歿勇士に  
謹んで敬弔の誠を捧げ、戦傷將士の再起奉公の  
一日も速かならんことを祈るものである  
南方諸地域においては、かねて附いて居つた通  
り、未だ一年半の短期間なるにも拘はらず、原住  
民の眞摯なる協力の下に軍事、經濟、文化等各方  
面にわたる順調なる進展を續けてゐることは欣快に  
堪へないところであり、私はこの機会に原住民の  
協力を對して深甚なる敬意を表するものである。  
而してビルマ、比島の獨立準備は着々として進歩  
してゐるのである。一方、インド獨立運動は日一  
日と強化せられ、インドの自由と繁榮との願され  
る日は歩一歩近づいてゐるのである。洵に御同慶  
に堪へない次第である  
由來、南方諸地域は多年にわたり米英蘭の支配  
下に、その搾取の對象とせられ、全くの植民地化  
せられて居つたのである。従つて、その治下にあ  
つた南方諸民族は殊更に教育せられることなく放  
置せられ、唯生老死するの外なかつたのである  
斯かる際に、大東亞戰爭の勃發は天與の警鐘と  
なり、今や南方諸地域の民族は米英蘭の羈絆より  
脱し、大東亞民族未來の使命に生き、大東亞共存  
共榮の態勢を築き上げんとしてゐるのである  
私は去る三月以來、中華民國、滿洲國、次いで  
比島を訪問したのであるが、今回さらにタイ國及  
び南方諸地域を訪れ、大東亞の諸國家、諸民族が  
夫々本來の使命に徹し、大東亞解放のためであり、  
大東亞興隆のためである今次戰爭の完遂に一踏  
進しつゝあるを目撃し、聖恩の宏大無邊なるに感  
激すると共に、益々必勝の信念を堅くし、大東亞  
の前途洋々たるを確信したのである  
茲に内地歸還に當り、國民諸君と共に愈々國志  
を新たに、御稜威の下、飽くまでもこの曠古の  
大戰爭を戦ひ抜き勝ち抜き、以て大東亞共榮圈を  
完成して八紘爲宇の大理想を具現せんことを深く  
期するものである  
——以上は七月十二日東條總理が南方出張より歸  
途に際して發表した講話である——

# タイ新領土と六州

東條内閣閣議大臣はタイ國を訪問する。ビーン・タイ國首相と談話し、大東亞戦争の進展、大東亞戦争下の「日タイ」間の協力に關する全面的な検討を行ひ、完全に意見の一致をみた結果、七月五日午後二時(タイ時間)在タイ帝國大使館では「...兩總理は米英の優勢挽回に拘はらず、今や大東亞の必要の態勢の確立せられてゐることを再確認し、且つ大東亞共榮圏は各構成分子が相互的主權尊重の下に結果を固くし、各自必勝の信念をもつて大東亞戦争を完遂することによつて完成せられるものなることを確認せる...」旨の力強い共同聲明を發表し、またこの會議の重要な結果として、タイ國領土の地である舊英領地



ルマのシャン勳藩領のうちケントン、モンパンの兩藩と北陸マライのケダー、ベルリス、ケラタン、トレンガヌの四土侯州を新らしくタイ國の領土とすることに意見の一致をみた

いまキ帝國は、四州タイ國の降参とその民族的な發展を心から希望する國策のあらはれとして、開戦當初、皇軍が血をもつて暴戻イギリスから奪取したマライの領域も、何のわだかまりもなくタイ國に歸屬させることを承認したわけ、この決定がまもなく戦争遂行に邁進せんとする兩國の協力を一層緊密にすることはいふまでもない。しかも帝國がアジアは一つなりの信念に基づいて、真意に誠意をもつてする共榮圏建設の道徳を具體的に世界に顯現したことは、常に構構精進をことし、且つ美名にかくれて侵略を専らにしてきた米英にとつて最も手痛い打撃であらう



ケントン領のカレン人

ケントン領は面積約三万一千平方キロ(二万二千平方哩)、南シャン



意氣揚々と歸國にまぎまつたシャン人

一内の交易には各地の中心都會五日目毎に市が立ち、こゝへ遠近各地から各種族が思ひ／＼に土産物を持寄つて交換する。ケントンの市は特に有名である。五日目毎の市はシャン族の風習であるが、市日には山開種族たるワラ族やラー族等も町へ出て来て交易する。タイ國が大東亞戦争に参加すると直ちに軍を進めて當領に進駐し、皇軍に協力して重慶軍を雲南方面へ驅逐し、現在も治安の維持や殘匪の掃蕩に當つてゐる

占め、カレン族も居住する。主としてモンパンは領内の西部にあり、サルウィン河の一支流に臨んで、その地域のチーク材の中心である。サルウィン河東側にモン・トーン、モン・キョート、モン・ハン等の町があり、それぞれモンパンからケントン領やタイ領のチェンライ縣、チェンマイ縣へ通ずる交通路の要衝に當り、地方的中心となつてゐる。主要物産は米とチーク材であるが、なかんづくサルウィン河東側のナムパン及びメ・ハン河川のチーク材は最も重要であるといはれる。モンパン領内にはタイ軍は軍事行動を行つてゐないが、警

チーク材、橡材、牛、小馬等があり、領内は大體において自給經濟を爲し、原始的工業も綿布の染色、生糸紡績のほか、皮革製品、金銀細工、陶器の製作、火藥の製造なども行はれてゐる。チーク材は主として南西部から産し、モンパン地域のものはサルウィン河へ、モンパン地域のものはタイ領を経てメコン河に合するナムコック河へ流し、輸出向に製材も行はれてゐる。棉花も相當多量に産出し、支那人の隊商がこれを取扱ふ。その他、阿片、鹿、サングル靴等、藤、鹿皮、牛、小馬等は西部のタイ領チェンマイ方面やチェンライ方面へ輸出される。茶組、出され

ケラタンの市場

ケラタンの市場

ケラタンの市場

ケラタンの市場



ケラタンの市場

ケラタンの市場

ケラタンの市場

ケラタンの市場

# 戦ふ多國の歩武堂々と

第十一回タイ国立憲革命記念日



「雄飛ひろく」される國民の力強い  
進行に導くべき青年の奮闘

王宮前通りの記念式場に女子青年隊の分列行  
進は華やかな装束とピジョン色の制服を以てした

「雄飛ひろく」される國民の力強い  
進行に導くべき青年の奮闘



「タイ革命記念日はタイ國民によつて愛しい祝祭日だ。露店に  
出れば玩具も戦ふタイを反映して飛行機の模型を準備した人々だ」

大東亞戦争の一翼を擔つて意氣いよ／＼、軒昂たる『戦ふタイ』は、  
わが大東亞戦線の大方針にその發展を推進され、いよ／＼近代國家と  
しての面目を備へつゝあるが、去る六月二十四日、第十一回立憲革命  
記念日を迎へて雄飛ひろくけられた記念祭の盛大な行事は、タイ國民  
を興奮の最高潮に達せしめた。この記念行事中にはバンコク市内各  
所に建設中だつた官公舎、ホテル等の大建築物や、橋梁、道路等の  
開通式が四十三件にも及び、興産、重工業の供進會等が催  
されてゐることは注目すべきことで、戦ふ一面、着々と國家の  
基礎をかため、面目を一新しつゝある姿とみられるのであり、西邦の  
ために、われらも共にタイ萬歳を唱へようではないか。



「雄飛ひろく」される國民の力強い  
進行に導くべき青年の奮闘

記念式に参加した少年達は見さん  
達の賑やかな様子に力強く展開された



# ラトマス 園農の里千望一へ産増



今軍政州廳に管理されて一部は食糧の耕作地に代りつゝ、オランダのタバコ園として世界に知られる。東海岸の開墾はこの煙草の栽培によつて始められたのだ。(右頁右)

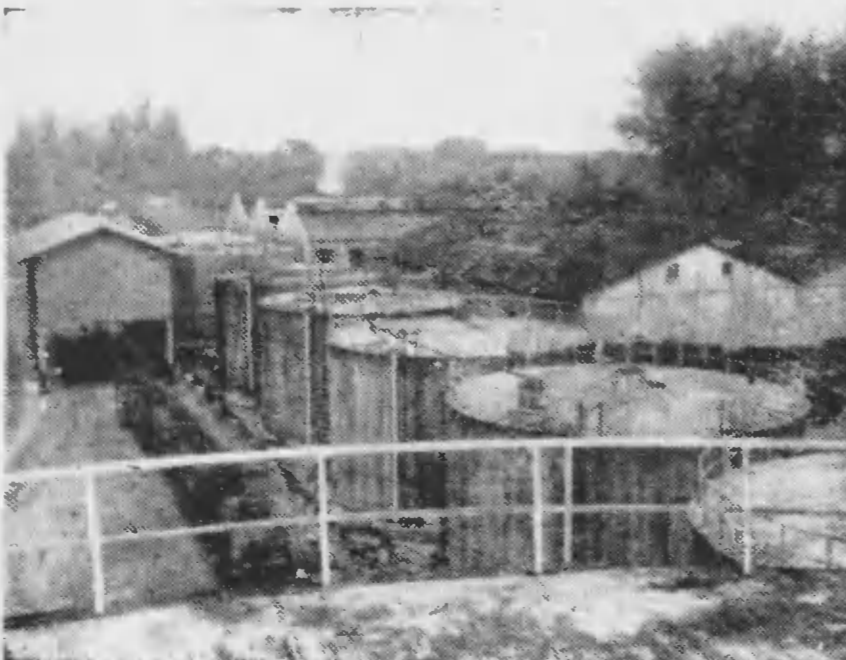
宮園の中心シヤンタル町に近いらラマスの町の郊外には見事なサイザル麻の畑がある。下葉から切りとつて織物とし、綢の原料となる。蘭印時代には輸出の六割をしめていたといふ。(右頁右)

紅茶の産額はジャワとともに南方の産額の大部分を占めるが、こゝではジャワにくらぶと極めて大規模な栽培法が用いられる。近頃では美味しい日本茶も作られるやうになつてゐる。(右頁左)

農園のゴム林の中にはひろくとした道路が縦横にひらかれてゐる。採集されたゴム液はこの道をシヤンタルの工場に運ばれてゆく。こゝでは世界的に得難い海産ケイソウに用いられる殻殻ゴム、紫色ゴムの特殊加工が行はれてゐる。(右頁左)

昔に短かいサロンを着て内地そつくりの田舎風景——オランダの自國本位の農業政策は皇軍進駐とともに改められ、食糧自給をめざして米耕作地は飛躍的に増加された。われわれの舌にもなじみ深くなつた椰子油もこゝら一帯十萬町歩からの農場に栽培される油椰子の實から採集されるのだ。農園には日本人の農園もあり搾油されてゐる。

搾油された油はパームオイルと稱せられ、マーガリン、石鹼の原料として植物性油中高級品に属し、世界市場に大きな販路をもつてゐる。



天恵豊かな南方諸地方のうちでも官旗といはれるスマトラの農産物は、現地住民の協力によつて飛躍的増産の路をたどり、南方物資交流に大事な一役を買つてゐる。とかく南方といへばすぐジャングル地帯を想像するが、スマトラに一步足を踏み入れると、先づ第一に農業の園といふ感がびんとくる。

スマトラの首都メダン郊外シヤンタルは、昔から氣候のよい土地としてひろくとした農園地帯をなしてゐる。農園といつても内地のそれとはまるで違つて、こゝの農園はその一つが数百町歩から数千町歩、中には一万余町歩に及ぶものもあり、内地の一つの郡がこゝでは一つの農園である。

この大農園は皇軍進駐後、官園と改稱されてゐるが、この地一帯に植ゑられてゐるのはゴム、煙草、油椰子をはじめ、サイザル(麻の一種)、ココ椰子、ココア、果物等あらゆる農業が集つて一つの集團農園を作つてゐる。その地味の豊かなことは氣候の好条件と相まつて、播種後は大した手入れもせず、肥料もやらずに、房々とした陸稻が登るほどである。

従来、オランダが南方特産品で莫大な利益を得るために、二十四万町歩といふ大きな面積を煙草園にして、東海岸州の百五十万町歩の面積中、大半をかちした煙草、ゴム、油椰子の農園にとられてゐたため、廣い農園をもちながら食糧の自給ができなかつた。毎年相當量の米を外から移入してゐたのでしたが、皇軍進駐後は我が軍政當局が、取敢へず煙草園六万町歩を開放して米を作らせることとなつたので、この收穫によつて食糧の自給も間もなく解決されることとなり、現地住民は感謝と感激に燃えて、農業増産に敢闘をこめてゐる。

このスマトラ東海岸だけでも實にゴム園三十五、油椰子六、茶園四十三その他があるが、次ぎにその一部を紹介しよう。

文 木下陸軍報道班員  
撮影 早川陸軍報道班員



# 働く原住民へ軍楽の贈物

北ボルネオ クチン

「軍楽隊」が贈った美しい音楽を聴かされた原住民は、心から喜び、歌を歌い、舞を舞い、和やかなひとときを過ごした。

「建設に協力するクチン」が開かれた。

南の民族は音楽が大好きだ。音楽と踊ることとは南方に住んでゐる諸民族には生活の一部でとてある。人目立たない北ボルネオのクチンの町にも、堂々たる管絃楽隊や吹奏楽隊が三つもあつて、胸くらべをしてゐるほどだから、おおよそ察しがつくことだらう。そこへ生れて初めて見る戦勝日本の陸軍軍楽隊がやつてきて、全島を巡り、駐屯部隊や白衣の勇士達を慰めると共に、ゆく先き先きで屋外演奏会を開いて、戦ふ日本の勇ましい進軍譜や、現地の人の耳にも親しまれてゐる数々の西洋音楽を演奏し、その美しい旋律が彼等の耳を奪つたので、どこへいつても熱烈的な好評を受け、一人現地住民達の親愛感をたかめたのだつた。



「もつと力を入れて吹いてらん。——そら、い、音がでるだらう」





# 南の青少年に科学解放

昭南工業學校

撮影 木下陸軍報道班員

今まで謎のやうに思つた科学も  
學んであるうちに分つて來ると  
もう面白くて夢中になり、先生  
を驚かすほどの進歩ぶりだ

空襲を恐れ、決して原住  
民を救へ導かうとはしなかつ  
た。學校を設けて、その地  
現地で育つ日國民子弟のため  
の教育であり、たま／＼原住  
民の學を許しても、そこには  
厳しい一線をめぐり、「上  
民」として蔑視し、差別待遇  
し、他日指導者になれるやう  
な教育は決してしなかつた。  
まして科学技術は一切教へな  
かつた。何故かといふと、原  
住民が科学技術を持つた時こ  
そ、彼等英人の永遠の繁榮が  
根こそぎに覆へることを知  
りぬいてゐたからだ。

しかし、大東亞諸民族の解  
放と共榮とを祈念するわが軍  
は、盟主日本に對する原住民  
の憤りに應へて、進んで科学  
技術の解放を實施した。即ち  
去る二月一日には昭南工業學  
校を開設して、マライ各地か  
ら二百餘名の現地人若人を選  
んで、これにわが軍隊精神を  
以て練成し、すぐれた學術を  
以て教育してゐる。この二百  
餘名の學生の中にはサルタン  
の息子もゐるが、全學生は將  
來マライの指導者となり、大  
東亞共榮圏の一翼として日本  
の期待に報いようと物凄い意  
氣込みで勉強をつゞけてゐる  
また陸軍勇戦の地として記  
憶も新しいジョホール・バ  
ルには家政女學校が開かれ、  
マライ、インド、中國、ユー

ラシアンの子ら若い乙女たち  
が、日本の姉さんたちに負け  
まいと、女の心構へを精々  
して學んでゐる

もうこんな精密機械を操作出來  
るまでになつた。入學した頃が  
夢のやうだ

こゝにはかつての暗い表情はな  
い。明るくキビ／＼した動作は  
新しいマライの將來を思はせ  
て力強い



全マライから選ばれて學び、幸  
々の晩は指導者として立つと思  
へば足も勇む

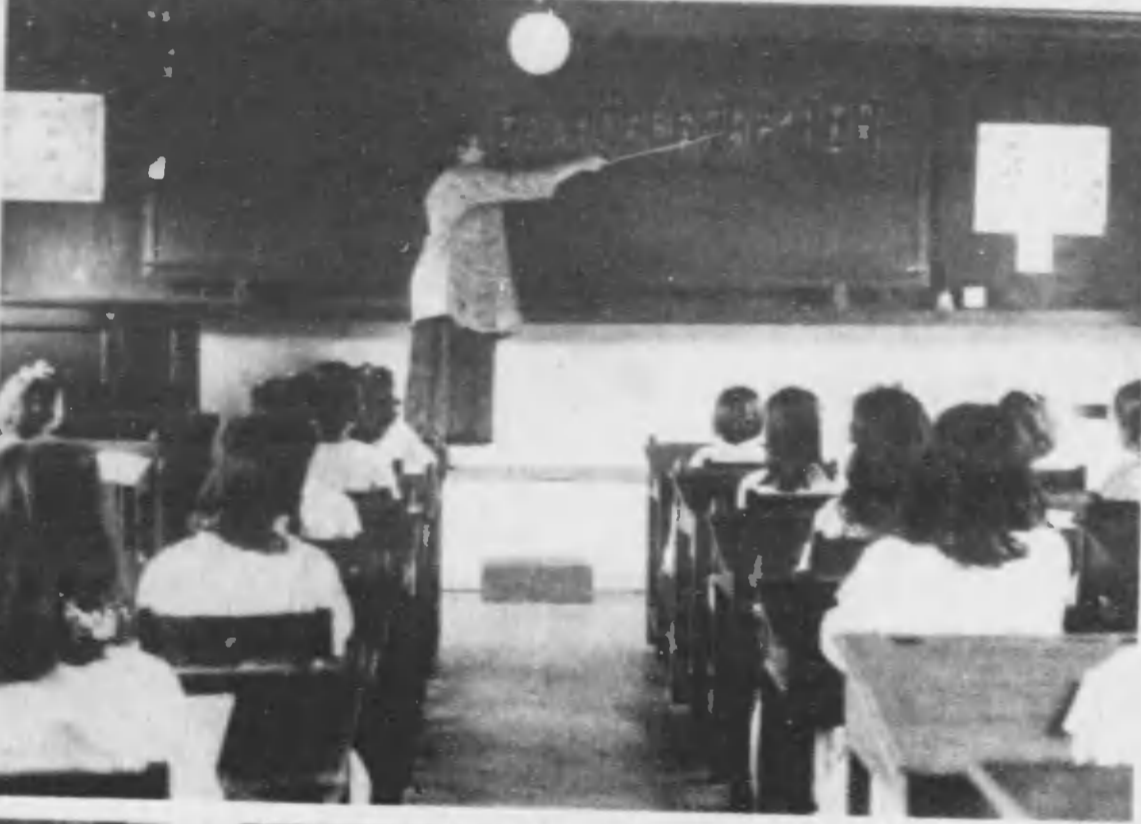
この手が機械を運ぶのだ  
と  
學生はきかて來る卒業の日を思  
つて一生懸命だ

## ジョホールバル 家政女學校

朝の授業はラジオ体操にはじまる。いろんな服  
を着てゐても心は一つ、同じ大東亞の民だ



日本のお姉さまに早くお手紙したいと思ひながら、初等  
科はまづアイウエオから



家事縫紉は女の務め、先生の手をとつての授業で自分の服ぐ  
らゐはすぐ出来るやうになつた 撮影 木下陸軍報道班員



誌日画漫争戦亞東大  
介進 川石



へ手の得く度出芽界組同共通上



才発動暴の抗反障被痛に地各



大其害出敵の陸上島パドレ



南昭氏スーボ・ワドンチ



行取製夜な烈社職逐編がわ



襲空初クーリグスタッロブ



問訪を相首ソブ理總統東

二百年にわたる  
英の壓制



起ち上るのは今だ  
武力抗争に権輪の助太刀



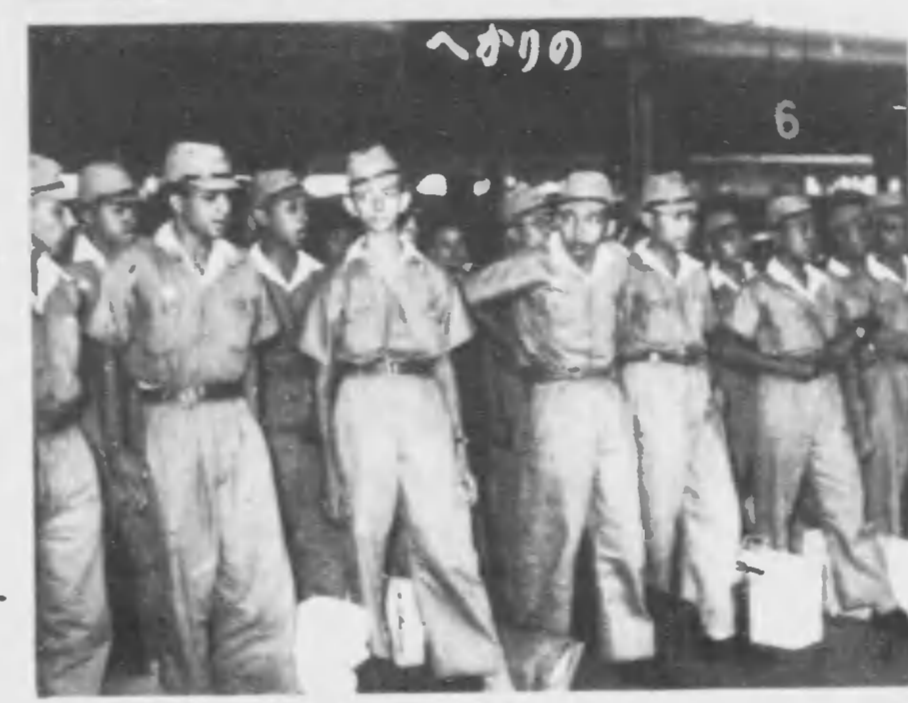
印度独立の好機  
石川 進介



東京 南方から留学生来る



輝かしい皇軍の戦果に東洋人としての自覚を促され、現地にもたらされた我が科学技術の優秀さに、指導者日本の素晴らしい目をあたり知った現地人青少年は、こみ上げてくる畏敬と親しさを以て  
「聖主日本に学ぼう」と叫んだ  
この時から、無気力で懶者だといはれた南の青少年に激刺たる若さが蘇った。そして、まづ日本語の勉強に熱意が見事に實を結んで、ビルマ、マライ、スマトラ、ジャワから選ばれた五十三名の現地人若人は、夢にまでみだ憧れの東京で勉強できることになり、幾千キロの戦ふ海を越えて、六月三十日帝都に到着した  
これらの現地人たちは早速七月五日、国際學友會日本語學校に入學したが、こゝで一年間日本語をみっちり勉強した後、大學又は高等專門學校で二ヶ年の勉學を終へてから現地に歸り、現地人の指導者として南方建設に活躍する豫定である



訂正  
本誌第二百七十九號第十四頁右段の寫真中、國民服の儀禮章は右胸に附けるべきでありました。訂正致します

★表紙  
昭南の空は明るい。大東亞の輝かしい未來のやうに眩しく太陽が照る。笑ふと暗い面影をのぞかせ、色は眞黒だが、とても可愛いこの子供たちが大人になる頃は、アジアは一つ、みんな兄弟の國となつて、新しい世界を造つてゐるのだ  
撮影 木下陸軍報道班員

270億円  
なんのその。



東海銀行

寫眞週報

(葉轉載)

昭和十八年七月廿日印刷發行

編輯者

情報局

東京都豊島区

永田町一ノ町

印刷者

内閣印刷局

東京豊島区

大崎町

定

一部十錢

(送料一錢)

(外販郵送は依

其の地域に依

其一部十九錢

受けます)

▲特大紙の場合は

其の都度郵送料

金より差額を申

受けます)

所

中

全国各地官報

販賣所

書店・驛賣店

新聞販賣店

寫眞材料店

本誌を回覧に

本誌を、隣組や職場  
で回覧するなど、出  
来るだけ有効に御利  
用下さい。

前線慰問にも

またお読みになった  
ら本誌を前線慰問に  
送りませう。送料は  
内地と同様に封封あ  
るひは開封にして第  
一種と明記すれば、  
一紙一錢です。

内閣印刷局印刷發行

〔列強紙張はA4規格定尺より3分の1の差〕